

株式会社Make Care

訪問看護ステーションくるみ

HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT

社内奨学金制度 概要

(専門看護師・認定看護師 資格取得支援)

66 副題

専門性への投資を、
個人任せにしないために

CONFIDENTIAL

制度の背景



専門性の高い看護師育成の重要性

地域医療の質を向上させ、利用者様により高度なケアを提供するためには、専門知識を持った看護師の育成が不可欠です。



資格取得に伴う経済的・時間的負担の大きさ

認定看護師や専門看護師の資格取得には、高額な学費や実習費に加え、長期間の業務離脱が必要となり、個人の負担は甚大です。



個人の自己負担に依存しない育成モデルの必要性

意欲あるスタッフが経済的な理由でキャリアアップを諦めることがないよう、組織として計画的に支援する仕組みが求められています。

制度の基本方針



本制度は「奨学金（貸与）」制度

給付型ではなく、将来的な返済を前提とした貸与型の資金援助制度です。ただし、資格取得後の継続勤務等、一定の条件を満たすことで返済免除規定が適用されます。



資格取得を目的とした教育支援

業務命令による強制的な研修とは異なり、本人の意思に基づく専門資格取得を支援します。学費や修学期間中の生活費の一部をサポートし、学習に専念できる環境を整えます。



給与とは明確に切り分けて運用

学業に専念し業務を離れる期間の支援金は、労働対価である「給与」ではなく「貸付金（奨学金）」として扱います。これにより税務・労務上の区分を明確化します。

対象者・対象資格



対象者

- ✓ **正社員**
フルタイム勤務の正規雇用者が対象となります
- ✓ **一定期間以上の在籍**
入社後、規定された期間（例：1年以上）を経過していること
- ✓ **会社承認を得た者**
事前の面談等を通じ、キャリアプランについて会社の承認が必要です



対象資格

- ★ **認定看護師**
特定行為研修を組み込んだ認定看護師教育課程（B課程）を含みます
- 🎓 **専門看護師**
大学院（修士課程）における専門看護師教育課程

i その他の資格については、事業への必要性を鑑みて個別に判断します。

認定看護師 取得の目安



期間

約 6～12 か月

教育課程により異なります



業務から離れる期間

約 6～9 か月

講義・実習を中心とした期間



費用感（目安）

80～150 万円

学費・実習費など(奨学金対象)



在学中の扱い

給与支給

月 **10** 万円程度支給

(フルタイム研修費用として)

生活費支援(奨学金対象)

月 **10～20** 万円を

奨学金として貸与



TOTAL ESTIMATED AMOUNT

奨学金総額イメージ

約 160～250 万円前後

専門看護師（大学院）取得の目安

株式会社Make Care / 訪問看護ステーションくるみ



期間

約2年（24か月）

大学院修士課程



業務から離れる期間

約20～24 か月

研究・実習等で長期間の離脱が必要



費用感（目安）

150～300 万円

入学金・授業料等(奨学金対象)



在学中の扱い

給与支給

月 **10** 万円程度支給

（フルタイム研修費用として）

生活費支援(奨学金対象)

月 **10～20** 万円を

奨学金として貸与



TOTAL ESTIMATED AMOUNT

奨学金総額イメージ

約 390～630 万円前後

在学中の給与と奨学金の整理

支給（給与所得）

奨学金

貸与（返済あり）

学費

全額貸与

入学金・授業料・実習費など、資格取得に必要な学費の実費を全額支援します

生活費

月額貸与

月 **10～20** 万円を目安に貸与

給与・社保

給与（研修費）

月額支給

月 **10** 万円程度（フルタイム研修費用）

社会保険

加入

給与支給分に対して社会保険・雇用保険に加入

重要：奨学金の性質について

本制度における奨学金（学費および生活費貸与分）は、原則として**返済義務のある貸与金**となります。

※復職後の給与増額分を返済原資とする運用を行います（次ページ参照）。

返済の考え方

株式会社Make Care /



奨学金は「借入」として返済義務あり

学費および生活費として貸与された奨学金は、会社からの借入金として扱われます。原則として返済の義務が生じます。



手当を返済原資として計画的な返済を実施

支給された手当を原資として、無理のない計画的な返済を行っていく運用となります。生活水準を維持しながら返済が可能です。



専門性・役割の拡大に応じた手当を支給

資格取得後、専門看護師・認定看護師手当や役職手当など、役割の拡大や専門性に応じた手当が別途支給されます。



長期在籍ボーナスで実質負担を軽減

本制度を利用して資格を取得したスタッフに限り、在籍5年で50万円、10年で100万円（目安）のボーナスを支給し、実質的な負担を軽減します。

退職時の取り扱い

株式会社Make Care / 1



未返済分は貸付金として返済義務が残る

退職時点で完済していない奨学金（貸与金）の残額については、会社への貸付金として残額の一括または分割での返済義務が生じます。



退職後の返済は給与ではなく債務返済として扱う

退職後の返済は給与からの天引き等ではなく、個人的な債務（借入金）の返済として扱われます。法的な金銭消費貸借契約に基づいて処理されます。



返済金は給与所得ではないため、社会保険料・所得税の対象外

この返済金は給与所得の扱いではないため、社会保険料（健康保険・厚生年金）や所得税の課税対象には含まれません。

制度の特徴

01



生活が破綻しない 最低限の支援

学費だけでなく生活費も貸与することで、経済的な不安を軽減。学習に専念できる環境を整え、確実な資格取得をバックアップします。

02



無理のない 財務設計

会社にとっては過度なキャッシュアウトを防ぎ、個人にとっては将来の返済や免除を見据えた、持続可能な資金計画に基づいています。

03



双方に責任と覚悟が 生まれる仕組み

単なる「もらい得」ではなく、貸与・返済のプロセスを経ることで、組織への貢献意欲とプロフェッショナルとしての自覚を醸成します。

専門性への投資は、未来への投資。

個人と組織が共に成長するエコシステムを目指して



「囲い込み」ではなく「育成支援」

制度による拘束を目的とするのではなく、意欲ある人材が経済的な理由で機会を損なうことのないよう、純粋なスキルアップを支援します。



専門性を組織の力に変える

個人の資格取得をゴールとせず、習得した高度な知識・技術をステーション全体に還元し、ケアの質を向上させる循環を作ります。



長く活躍できる環境づくり

キャリアの発展段階に応じた支援を用意することで、長期的な視点で安心して働き続けられる職場環境を実現します。